



子ども読書支援センターニュース 第18号



2016.3.25

山梨県子ども読書支援センター

本誌は、県民の皆様には山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>> 児童青少年サービス講座中級編・第4回及び、第5回を実施しました。

児童青少年サービス講座中級編の第4回を11月19日（木）、第5回を12月17日（木）に開催しました。

第4回は「最近の子どもの本の動向」と題して、児童文学研究家で親子読書地域文庫全国連絡会代表の広瀬恒子氏に講義いただきました。初めに、最近の子どもの本の状況についてお話いただきました。今年は戦後70年の節目であり、戦争に関する本が多く出版されている。戦争体験者が少なくなっている中で、そうした体験を子どもたちに語り伝えていく本の役割は大きい。また、『不思議の国のアリス』『せいめいのれきし』などの名作の復刻や『星の王子さま』が様々な形で出版されるなど、古典作品の継承という動きも見られたとのお話がありました。次に、学校図書館向けのセット本が多いこと、各出版社とも幼年童話シリーズを多く出版しているなどの特徴を挙げられました。その後は、絵本、読み物、伝記など、一冊ずつ具体的に内容や特徴を解説しながら紹介いただきました。

受講者からは「広いジャンルにわたって多くの本を紹介していただき、選書や子どもにすすめる際に役立つ。」「最近の子どもの本の出版状況や動向に関わるお話も興味深かった。」などの感想が寄せられました。

第5回は「子どものための図書館の使命と役割を考える—国際子ども図書館の児童サービスを中心に—」と題して、国際子ども図書館の根岸輝美子氏に講義いただきました。最初に、国際子ども図書館の使命や役割、サービス、利用状況などを説明いただきました。続いて、選書や展示、イベントやおはなし会など、子どもに本を手渡す取り組みについて具体的に紹介いただきました。また、施設のリニューアルにあわせた新たなサービスとして「児童書研究資料室」の開室、「調べものの部屋」や「児童書ギャラリー」の新設なども詳細に説明いただきました。さらに、児童書の検索に役立つ様々な電子情報のサービスについても、インターネットを用いて詳細に紹介いただきました。

受講者からは、「サービスの基本は選書であるという点を改めて勉強させてもらった。」「国立の図書館として様々な資料や情報が提供されていることがわかり、自分が勤務している小さな学校図書館を見直すきっかけとなった。」などの感想が寄せられ、国際子ども図書館の役割について詳細に学ぶことができました。

今回で全講座が終了となり、講義の後に閉講式及び、30名に修了証の授与を行いました。



▲第4回講座の様子



▲第5回講座の様子

>>子どもの読書活動推進スキルアップ講座（第4回、第5回）を開催しました。

12月3日（木）に「創作のタネあかし—新美南吉童話賞など、受賞作品はいかにして生まれたか—」と題して、童話作家のしいなさいち氏を講師に講座を実施しました。図書館職員や学校司書、児童文学に関心のある一般の方など38名の参加がありました。

受賞作品を含めた3作品をテキストに、創作の発想方法やテクニック、完成に至るまでのプロセスについてお話いただきました。作品に込める思いや、受賞後の裏話など、普段はなかなか知ることができない著者の視点から、子どもの本について講演いただきました。

2月18日（木）には、「カムカムクラブの実践とアニメーションワークショップ—公共図書館でのアニメーション—」と題して、甲州市立勝沼図書館司書の青柳啓子氏を講師に講座を実施しました。図書館職員や学校司書、保育士など39名の参加がありました。「カムカムクラブ」とは、今年13年目を迎えた、甲州市立勝沼図書館が取り組んでいる、小学校3・4年生を対象にした会員制の読書クラブです。毎月1回の活動の中で行っている読書へのアニメーションや、史跡を歩き専門家に解説してもらう市内探検ツアー、司書の仕事を体験する図書館探検隊など、多様な活動プログラムの実践を紹介していただきました。また、実際に子どもたちが行った「タイトルをつけよう」と「チーム対抗クイズ大会」のアニメーションを行いました。参加者からは、「ワークショップで実際に体験しながら楽しく学ぶことができた。」「学校で子どもたちにアニメーションを実践することを想定できたのでとても良かった。」などの感想が寄せられました。



▲ワークショップの様子

※使用図書

『ココロ屋』梨屋アリエ／作 菅野由貴子／絵 文研出版 2011年

『たかこ』清水真裕／文 青山友美／絵 童心社 2011年

>>学校図書館司書との連携事業「本のサプリ」を開催しています。



▲「本のサプリ」展示の様子

1階交流ルーム104北側のティーンズコーナーでは、3月1日（火）から5月13日（金）まで、資料紹介展示「本のサプリ」を実施しています。中学生・高校生に読書に興味を持ってもらうことを目的に、県内の学校司書と連携し「こんな時、この一冊」という設定でおすすめの本100冊を展示しています。これからの進路について考え、悩む時期に、楽しく一冊の本に出会えるよう、紹介方法も工夫し、ゲーム性を取り入れました。おすすめの本を紹介した紙が入った丸い透明カプセルを、箱の中から取り出してもらいます。新しい本との偶然の出会いが、読書の世界を広げるきっかけになればと思います。

さらに、友だちとのつながりにも注目し、読んだ本の感想やメッセージを記入し合い、読書体験を共有、交流する「ともどくカード」を用意しました。

同コーナーでは中学生・高校生に本との出会いを提供し、様々な方法で読書の楽しさを伝える取り組みを行っています。なお、当館での展示終了後は、県内の中学校、高校の学校図書館でも「本のサプリ」の展示を実施する予定です。

■ティーンズコーナー <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/teens/index.html>